

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [25950] 抗デスマグレイン1抗体
- [25951] 抗デスマグレイン3抗体

受託開始日

- 平成25年12月2日(月)

抗デスモグレイン1抗体／抗デスモグレイン3抗体

自己免疫性水疱症は、表皮のタンパク質に対する自己抗体が産生されることにより、皮膚に水疱やびらんが形成される疾患の総称で、主に天疱瘡と類天疱瘡の二つに大別されます。

天疱瘡は、表皮および粘膜上皮の細胞間接着装置であるデスモゾームに存在するデスモグレイン(Dsg)に対するIgGクラスの抗体が認められる疾患で、さらに尋常性天疱瘡(PV)、落葉状天疱瘡(PF)、腫瘍随伴性天疱瘡(PNP)の3つの型に分類されます。

さらに、Dsgには現在1～4のアイソタイプが確認されており、そのうち1と3に対する自己抗体が天疱瘡の発症と関連があることが知られており、いずれも表皮や粘膜のような重層扁平上皮のみに発現しています。

天疱瘡と抗デスモグレイン1抗体および3抗体との関連は下表をご参照下さい。

なお、類天疱瘡の診断には抗BP180抗体の測定が有用とされています。

【抗デスモグレイン抗体と疾患との関連】

	粘膜優位型 尋常性天疱瘡	粘膜皮膚型 尋常性天疱瘡	落葉状天疱瘡	腫瘍随伴性天疱瘡
抗デスモグレイン1抗体	陰性	陽性	陽性	半数程度が陽性
抗デスモグレイン3抗体	陽性	陽性	陰性	ほぼ全例で陽性

※あくまで典型例であり、全ての症例が本基準に該当するとは限りません。

検査要項

項目コード	25950	25951
検査項目名	抗デスモグレイン1抗体	抗デスモグレイン3抗体
検体量/保存方法	血清 0.3mL / 冷蔵	血清 0.3mL / 冷蔵
検査方法	CLEIA	CLEIA
基準値	20.0U/mL 未満	20.0U/mL 未満
所要日数	2～4日	2～4日
検査実施料	300点 ^{*1,2} ([D014] 自己抗体検査 「21」抗デスモグレイン1抗体)	270点 ^{*1,3} ([D014] 自己抗体検査 「19」抗デスモグレイン3抗体)
判断料	144点 (免疫学的検査判断料)	144点 (免疫学的検査判断料)
備考	<p>*1：厚生省特定疾患調査研究事業稀少難治性疾患に関する調査研究班による「天疱瘡診断基準」により、天疱瘡が強く疑われる患者に対し、天疱瘡の鑑別診断又は経過観察中の治療効果判定を目的として測定した場合に算定できます。</p> <p>*2：落葉状天疱瘡の患者に対し、経過観察中の治療効果判定の目的で、「抗デスモグレイン1抗体」と「抗デスモグレイン3抗体」を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定できます。</p> <p>*3：尋常性天疱瘡の患者に対し、経過観察中の治療効果判定の目的で、「抗デスモグレイン1抗体」と「抗デスモグレイン3抗体」を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定できます。</p>	

参考文献

横山知明, 他: Mebio, 27(6), 102～109, 2010.

天谷雅行: 日本臨牀, 68(増刊6), 614～617, 2010.